

(施策評価表63)

【施策番号IV-13-①-1】

取組みの方向性	百年の礎を築く	戦 略	【戦略13】環境を豊かに ～環境意識と行動を高めていきます～	主な施策	◆みどりの創造プロジェクトを進める ～「みどりの創造プロジェクト」による新たな景観向上～
			①生活と自然との共生		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
・公共事業の1%程度を、ピオトープなどの環境再生や、街並みの景観向上や緑の増加に活用する、「みどりの創造プロジェクト(仮称)」を進めます。	単県沿道環境整備事業	監理課 (道路保全課)	330,000 29,360	・「本県の豊かな自然環境を守ること」を基本理念とし、県民が住みよい環境を将来の世代に引き継いでいくため、環境再生や街並みの景観向上、緑化等につながる事業を実施した。 ・具体的には、花原川(阿蘇市)の河川内公園等の整備による河川の環境再生及び景観向上事業、天草五橋沿道の植樹帯の改善等の国道沿線改善事業、三角港の緑化等の港湾周辺景観改善事業等に着手し、調査設計等に取り組んだ。 ・また、より地元の方々に望まれる事業実施や整備後の維持管理体制の構築につながるよう調査設計等の段階から関係市町村や地元の方々と協議を行った。	・H24年度から取り組んでいる事業を着実に実施するとともに、①河川において親水護岸や散策路、公園等の整備(環境再生)、②市街地や港周辺において街路灯、植栽等の景観整備の実施(街並みの景観向上・緑の増加)、③沿道において防草対策や防護柵改善(沿道景観の向上)等の各種事業に取り組む。	・環境活動を実践する機会とするとともに、事業効果を継続的に発現させるため、地元自治体、住民等との連携を進める必要がある。 ・熊本らしい美しい景観等を維持していくための管理費が増嵩しない工夫が必要である。	・地元自治体、住民等と連携し、着実に事業を実施することで、公共施設と、川や海、山や田畑などの自然が調和することで、熊本らしい美しい景観と豊かな自然を身近に感じ、「住んで良かった」、「訪れて良かった」と実感できる環境を整備し、新たな地域の魅力向上を図る。
	沿道景観緑化推進事業	監理課 (都市計画課)	59,180 -				
	単県河川環境整備事業	監理課 (河川課)	107,000 4,141				
	単県港湾環境整備事業	監理課 (港湾課)	118,000 -				
	重要港湾改修事業	監理課 (港湾課)	45,000 4,000				
	主な施策のまとめ						